

主な業務の執行状況

	件名	執行状況・経緯	内容
1	各種申請の認可に関わる事項	<ul style="list-style-type: none"> 5月29日 経済産業大臣に申請 	<ul style="list-style-type: none"> 第26回運営委員会(5月28日)の議決を受け、5月29日、以下を経済産業大臣に申請。 <ul style="list-style-type: none"> 2018年度拠出金単価の認可 2018事業年度予算及び資金計画の変更の認可
2	日本原燃への使用済燃料再処理役務等の委託に関わる事項	<p>① 契約履行</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月23日 原子力規制庁に提出した事業者対応方針の実施状況等について日本原燃から聴取 	<ul style="list-style-type: none"> 日本原燃から、以下の取組み等について確認し、保安規定違反の再発防止対策を着実に実施するよう促した。 <ul style="list-style-type: none"> 設備の全数把握及び状態確認について、安全上重要な設備を含まない屋外の約1,000エリアの現場確認をほぼ完了(5月20日時点の進捗率は約99%)。残る10エリアは、原野と工事現場であり、確認方法を検討中。 上記を含む事業者対応方針の実施状況について、原子力規制庁の保安検査(5月14日～6月11日)が行われている。前回の保安検査で指摘された「低レベル廃棄物処理建屋内作業における計画及び放射線防護上の措置の未実施」(保安規定違反<監視>)の是正処置状況も保安検査の対象となっている。 機構としては、引き続き、日本原燃の改善活動の取組状況を確認するとともに、確実な実施を促していく。
		<p>② 事業変更許可補正申請に向けた取組み確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月26日、5月23、31日 再処理施設等の今後の審査対応の見直し等について日本原燃から聴取 	<ul style="list-style-type: none"> 日本原燃から、以下の取組み等について確認し、しゅん工に向けた許認可への対応や工事の計画的な実施に加え、保守管理の強化や技術力の向上など、安全・安定操業に向けた取組みについても計画的に進めていくよう促した。 <ul style="list-style-type: none"> 4月26日に原子力規制委員会へ補正申請書を再提出(一部落丁箇所)の補完)。 5月17日に審査再開後初めての審査会合が開催され、日本原燃より補正申請書の概要及び品質保証活動体制の見直し等について説明。 5月31日に原子力規制委員会へ再処理工場の新規制基準に係る設計及び工事の方法の変更認可(ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の貯蔵ホールの耐震強化工事)を申請。 機構としては、同委員会への対応状況を注視していくとともに、都度、しゅん工に向けたスケジュールや取組みも工程管理の一環として確認していく。